



## Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

			12月2日	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.2170	4.2050	4.2070	4.1870	4.1390	-0.0480
	BRL/JPY	Spot	25.84	25.83	25.87	25.98	26.23	+0.25
	EUR/USD	Spot	1.1081	1.1081	1.1080	1.1103	1.1058	-0.0045
	USD/JPY	Spot	108.96	108.63	108.86	108.76	108.56	-0.20
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	4.497	4.487	4.435	4.448	4.389	-0.058
	Future	1Year(p.a.)	4.707	4.672	4.644	4.658	4.563	-0.095
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.679	2.647	2.663	2.644	2.614	-0.030
	USD	1Year(p.a.)	2.659	2.617	2.608	2.600	2.564	-0.036
株式	Bovespa指数		108,927.80	108,956.00	110,300.90	110,622.30	111,125.80	+503.50
CDS	CDS Brazil 5y		125.14	125.20	123.83	120.90	118.11	-2.79
商品	CRB指数		177.124	177.589	179.403	180.068	181.191	+1.122

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは堅調に推移。米中協議の進展期待やブラジル経済に対する明るい見方からリスクオンが優勢となり、ボベスパ指数も連日最高値を更新。
- 2日(月)のレアルは、米・トランプ大統領がブラジルとアルゼンチンから輸入する鉄鋼とアルミニウムに追加関税を課すと表明したことから弱含んで寄り付き、週間安値となる4.2510でスタート。その後は、米・11月ISM製造業景気指数が4ヶ月連続で50を下回ったことを受けてドルが主要通貨に対して売られたことを受けてレアルは上昇に転じた。3日(火)のレアルは続伸。第3四半期GDPが市場予想を上回ったことが要因。その後、トランプ大統領が中国との貿易合意は来年の大統領選挙後でも構わないと発言したことを受けて上げ幅を縮小。4日(水)のレアルは小幅反落。10月鉱工業生産が市場予想を下回ったことからやや弱含んでスタートしたもの、トランプ大統領が前日から一転、中国との通商協議に関して非常に良好に進んでいると発言したことで下げ幅を縮小した。5日(木)は特段目立った材料を欠くなか、米中協議進展への期待感を背景にレアルは反発。6日(金)のレアルは続伸。米国の11月雇用統計は、非農業部門雇用者数(予想:180千人⇒実績:266千人)、失業率(予想:3.6%⇒実績:3.5%)、平均時給(予想:3.0%⇒実績:3.1%)と市場予想を上回る良好な結果となった。米国経済が引き続き良好な雇用と、堅調な個人消費に支えられていることが改めて示される格好となり、相場をサポート。レアルは週間高値4.1410を示現し、結局4.1390で越週した。
- 2日(月)発表のブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想について2019年は0.99%に据え置かれた一方、2020年は2.20%から2.22%に上方修正された。インフレ率予想は2019年が3.46%から3.52%に上方修正された一方、2020年は3.60%に据え置かれた。年末の為替レートについては2019年が4.10で据え置かれた一方、2020年は4.00から4.01にレアル安方向に修正された。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



## 米国はブラジルに対する鉄鋼・アルミ追加関税の復活を発表

2日(月)、トランプ米大統領は、ブラジルとアルゼンチンから輸入する鉄鋼とアルミニウムに追加関税を課すと表明。両国が自国通貨を切り下げて米国の輸出品が不利益を被っていると主張した。米政府は2018年3月より世界各国から輸入する鉄鋼とアルミにそれぞれ25%、10%の追加関税を課している。但し、ブラジルとアルゼンチンを含む一部の国は過剰生産の削減取り組みなどを背景に製品ごとに数量制限の範囲内で適用免除となっていた。本件は米中貿易摩擦による悪影響を受けている米製造業者および農家に対して保護主義的なアピールをする狙いがあるとみられる。これを受けてボルソナロ大統領は必要であれば、トランプ米大統領と電話協議を実施する意向を示した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等によって生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作権物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



#### 4.来週の為替市場注目点

#### 予想ドル・レアル相場レンジ：4.05－4.20

来週のレアルは、国内経済の成長見通しを背景にじり高を予想する。今週発表された第3Q GDPは好調な個人消費に牽引されて市場予想を上回った。労働市場の改善や低金利に加え、9月に積立退職金(FGTS)の引出しが可能となったことが引続き消費を促進し、今後も経済成長を下支えすると期待される。11日(水)金融政策会合(COPOM)での利下げも、ブラジル経済をサポートするとの見方からレアル買いを促そう。

他方、海外市場の動向にも引き続き注視が必要だ。最大の注目点は、15(日)に予定されている米国による対中関税が発動されるかどうかだ。今週の米トランプ大統領による協議は非常に良好に進んでいるとの発言以降、第4弾の関税発動は見送られるとみる向きが優勢だ。実際に先送りが決定されればレアル相場を引続きサポートしようが、関税の一部撤回など市場の期待を上回る合意が成立すればレアルは4.0台前半などの一段高を試す展開となろう。反対に、市場の期待とは裏腹に関税発動が不可避となった場合には、レアルが急落する虞もあるため注意しておきたい。

11日(水)、12日(木)開催の12月FOMCでは政策金利の据置きが広く見込まれている。今週6日(金)の11月雇用統計が好調な結果に照らしてみても、今次会合では政策据置きとみるのが順当であり、市場への影響は限定的だろう。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEインフIPCA(前月比)	0.47%	0.51%	0.10%
ブラジル	IBGEインフ率IPCA(前年比)	3.23%	3.27%	2.54%
米	非農業部門雇用者数変化	180k	266k	156k
米	失業率	3.60%	3.50%	3.60%
米	平均時給(前年比)	3.00%	3.10%	3.20%
米	労働参加率	--	63.20%	63.30%
米	ミシガン大学消費者マインド*	97.00	99.20	96.80

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	12/09	FGV CPI IPC-S	Dec	0.43%	0.49%
ブラジル	12/09	貿易収支(週次)	Dec	--	\$752m
ブラジル	12/11	小売売上高(前年比)	Oct	3.00%	2.10%
ブラジル	12/11	小売売上高(前月比)	Oct	0.00%	0.70%
米	12/11	CPI(前月比)	Nov	0.20%	0.40%
米	12/11	CPI(前年比)	Nov	2.00%	1.80%
米	12/11	FOMC政策金利(上限)	Dec	1.75%	1.75%
米	12/11	FOMC政策金利(下限)	Dec	1.50%	1.50%
ブラジル	12/11	SELICレート	Dec	4.50%	5.00%
ブラジル	12/12	IBGEサービス部門売上高 前年	Oct	1.50%	1.40%
米	12/12	PPI 最終需要(前月比)	Nov	0.20%	0.40%
米	12/12	新規失業保険申請件数	Dec	212k	203k
米	12/12	失業保険継続受給者数	Nov	1677k	1693k
ブラジル	12/13	経済活動(前年比)	Oct	1.50%	2.11%
ブラジル	12/13	経済活動(前月比)	Oct	-0.05%	0.44%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。